

## フロントバンパー取付説明書

**GOLDMAN** 適用車種:LAND CRUISER 100  
CRUISE



この度はダムド用品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
取付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。  
常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。

- 本製品を塗装取付る前に必ず仮合わせ、および付属品の確認を行ってください。
- 本製品を取付ける際には、必ず車両を平らな場所に停めて作業を行ってください。
- 本商品を取付ける際には、必ずサイドブレーキを引き、エンジンを停止させてください。
- 電装品が関係する商品の場合には、必ずバッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。
- 両面テープ貼付け面、および車体貼付け面を必ず脱脂剤等で清掃してください。
- PAC プライマーを塗布する際、貼付け部からプライマー液がはみ出さないように注意してください。はみ出した場合は、脱脂剤等で素早く拭き取ってください。はみ出したままにしておくと黄色く変色する恐れがあります。
- 両面テープを気温の低い日や湿気の多い日に貼付ける場合は、ドライヤー等で貼付け面を暖め、乾燥させてから貼付けてください。
- 両面テープ貼付け後、24時間以内の洗車は絶対に避けてください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

### 取付け販売店の方へ

取付け完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

### お客様へ

- 本説明書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管してください。
- 本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本説明書もあわせてお渡しください。

株式会社ダムド 〒242-0001

神奈川県大和市下鶴間 45-1

TEL:046-271-5599 FAX:046-272-2266

<http://www.damd.co.jp>

## 1. 構成部品

- ・ 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。

	名 称	数量		名 称	数量
	フロントバンパー本体	1	A	トラスボルト M6	10
B	フランジナット M6	4	C	ステーa (ステーbより長い方)	2
D	ステーb	2	E	スピードナット M6	2
F	トラスねじ M4	4	G	スプリングワッシャーM4	4
H	平ワッシャーM4	4	I	六角ナット M4	4
J	デイトイムランプキット	1			

- エンブレム \* トヨタエンブレム希望の場合中期は、純正グリルから移設させて下さい。  
\* 前期・後期は別売しております。  
\* レクサスエンブレム希望の場合は別途ご購入ください。

## 2. 車両部品の取外し

### ⚠ 注意

- ・ 前期型(平成10年～14年7月)に取付けの際は、必ず塗装前にヘッドライト下のパネルに干渉する部分を製品のケガキに沿ってカットしてください。

### ■ フロントバンパーの取外し

1. 純正フロントバンパー、およびグリルを取外します。
2. 発砲スチロールの緩衝材を取外します。

- ・ 発砲スチロールの緩衝材は再使用しません。

3. フォグランプハーネスを取外します。

### 【前期型車両のみ】

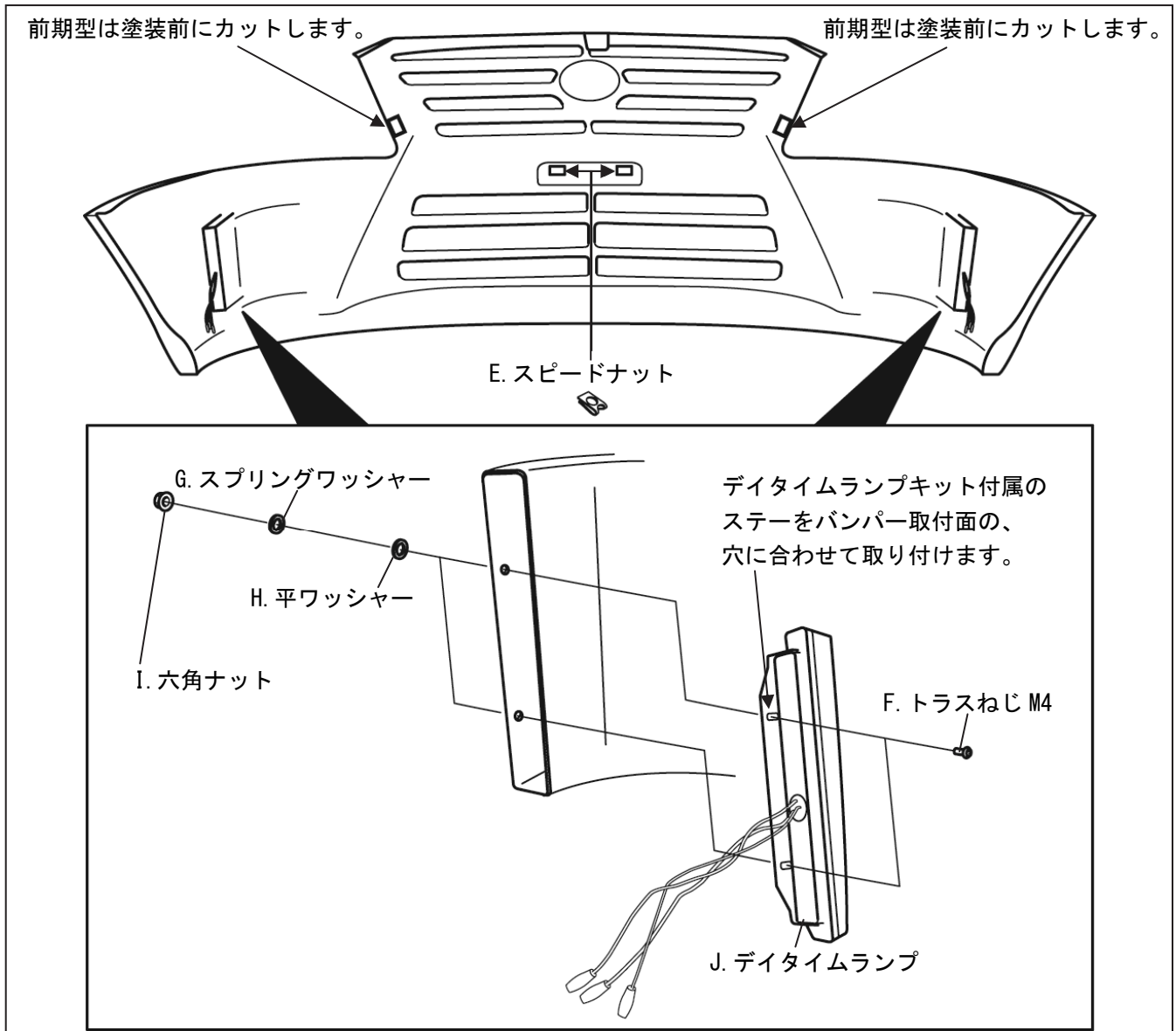
4. ヘッドライトウォッシャーシステムを取外します。

- ・ 取外したヘッドライトウォッシャーシステムは再使用しません。ウォッシャー液が出ないように処置してください。

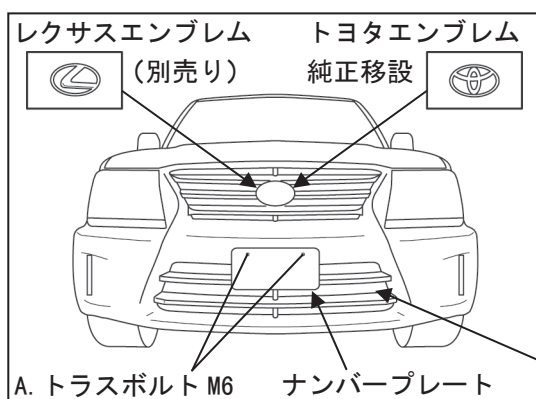
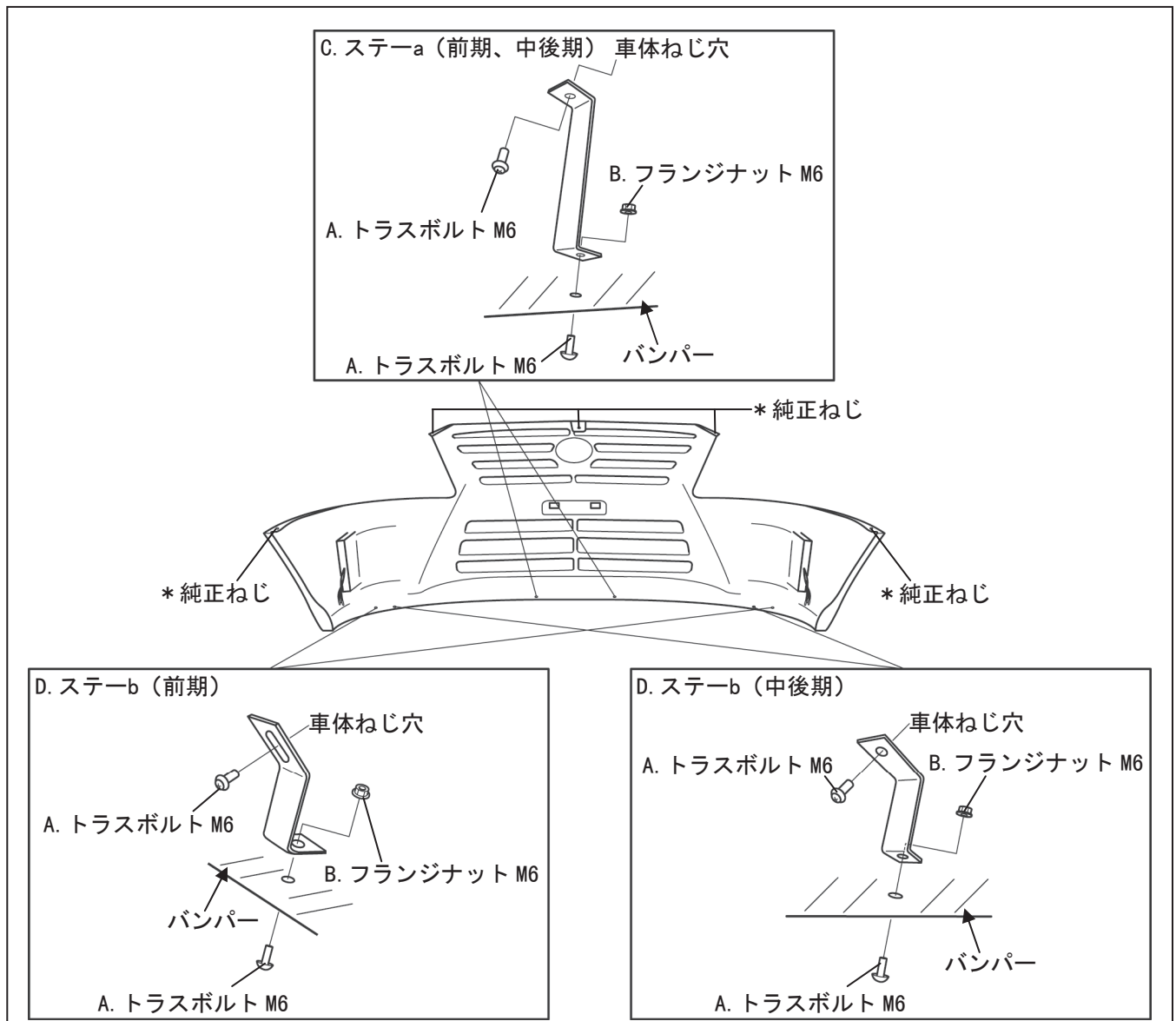
### 3. フロントバンパーの取付け

1. 製品バンパーにスピードナットを取付けます。
2. デイタイムランプを製品バンパーに取付けます。

- 配線はデイタイムランプ付属の取付説明書を参照して、車体側純正フォグランプなどの配線につなげてください。



3. 純正ねじを再使用して製品バンパーを車体に取り付けます。下面是ステーを用いて車体ねじ穴に固定してください。



4. エンブレムを貼付けます。

- \* トヨタエンブレム希望の場合中期は、純正グリルから移設させていただきます。
- \* 前期・後期は別売しております。
- \* レクサスエンブレム希望の場合は別途ご購入ください。

- エンブレム裏側の突起部分はカットしてください。
- 貼付け面は必ず脱脂をしてください。

5. トラスボルトM6を使用してナンバープレートを取付けます。

- ダクト内に見えるクロスメンバー部分は黒系色に塗装する事をお勧めします。

## 4. 復元・点検

1. 車両整備書の「バッテリー (-) ケーブル端子切離し/接続後に必要となる作業」を参照し、車両機能を復元してください。
2. 車両部品の復元点検および用品の取付け、作動確認を行なってください。